

課題

自分の興味のある適当な統計データを利用して、表、グラフなどにまとめ、Word に貼り付けて一つの報告書として提出せよ。

これは先週の課題 3. に該当する。前回のうちに提出した者の提出結果などを参考に、意味のあるレポートを作ること。前回提出者は講師のコメントを貰って改善せよ。

意味のあるレポートを作るために、途中でも印刷して提出し、講師のコメントをもらうこと。終了間際に出しても講師、受講者双方のためにならない。特に前回、闇雲に棒グラフなどにしていた受講者が目立ったが、そのようなことにならないように。

例 1.


前回、国内における自動車の登録台数と自動車メーカーの収益について調べている受講生がいた。登録台数と収益のグラフを、共に全体のパーセンテージに直して並べることで、どのメーカーが単価の高い自動車を出荷しているかが浮かび上がる。

例 2.

同じく前回、国内における免許取得者数を調べている受講生がいたが、これと国勢調査の結果を合わせてみれば、免許取得可能な人口中、どのくらいの間人が取得しているかがわかる。

もちろん二例とも論文に使えるような内容ではないが、それなりに価値のあるレポートとなるだろう。

統計資料について：

- ・ 図書館のページから日経の統計資料などをさがす。
- ・ コンピュータガイド pp.112 以降にある google などを使って独自に調べる。
- ・ うまく見つけられなければマイコンピュータにある  からたどって講師のフォルダ中にある「統計資料」に各種統計データが Excel 表形式(XLS 形式)で置いてある。ここから適当な資料をさがす。このとき原典の URL が表中にあるのでそちらと見比べながら処理すること。

以下に参考までに幾つかの統計資料を挙げておく。

- ・ 総務省統計局統計センター
国勢調査をはじめとして、多くの統計データが Excel 形式で存在する。
<http://www.stat.go.jp/data/guide/1.htm>
- ・ 京都市情報統計課 (CSV 形式)
<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/>
以下にのデータがある
- ・ 大阪府の統計データ (XLS 形式)
<http://www.pref.osaka.jp/toukei/index.htm>
の表
- ・ 日本銀行 (XLS 形式)
http://www.boj.or.jp/dlong_f.htm
- ・ 財務省
<http://www.mof.go.jp/#toukei>
- ・ 文部科学省
<http://www.monbu.go.jp/stat/jmstat.html>

他にも有益なデータはある。自分の興味でうまくみつけるよう工夫すること。